

経済常任委員会に付託された事件について、審査した結果を御報告いたします。

議案第 2号 令和7年度岩国市一般会計補正予算（第5号）

議案第 9号 令和8年度岩国市一般会計予算

以上2議案のうち、本委員会所管分は、慎重審査の結果、原案妥当と認め可決すべきものと決しました。

議案第 6号 令和7年度岩国市市場事業特別会計補正予算（第2号）

議案第14号 令和8年度岩国市周東食肉センター事業特別会計予算

議案第15号 令和8年度岩国市観光施設運営事業特別会計予算

議案第17号 令和8年度岩国市市場事業特別会計予算

議案第32号 岩国城条例の一部を改正する条例

議案第33号 岩国城索道条例の一部を改正する条例

議案第34号 岩国市地方卸売市場条例の一部を改正する条例

議案第46号 指定管理者の指定について

議案第47号 指定管理者の指定について

議案第48号 指定管理者の指定について

議案第49号 指定管理者の指定について

議案第50号 指定管理者の指定について

以上12議案は、慎重審査の結果、原案妥当と認め可決すべきものと決しました。

それでは、審査の状況について、御報告いたします。

議案第9号 令和8年度岩国市一般会計予算のうち、本委員会所管分の審査におきまして、

労働費の労働諸費の若者就職支援事業に関し、

委員中から、インターンシップ利用促進事業費補助金の事業内容と実績について質疑があり、

当局から、「市内企業によるインターンシップ制度の活用を促進し、早期に学生との接点を確保することで、円滑な採用活動につなげて市内企業の人材確保とミスマッチの防止を図るための事業であり、市内企業が実施するインターンシップに対し、学生1人当たり1日1万円、1事業者当たり年間5万円を上限として補助する事業である。令和7年度は、現時点で大学生、専門学生、市内高校生合わせて21人の受入れを行った13社からの申請により、予算執行額は43万円となっている」との答弁がありました。

これを受けて、委員中から、「令和7年度の予算額100万円に対し、現時点での予算執行額は43万円ということだが、予算額と執行額に乖離が生じている要因について、見解を伺う」との質疑があり、

当局から、「本事業は令和7年6月に開始した新規事業であり、事業の開始に合わせ、約480社に登録いただいている商工振興課のメールマガジンの配信を行うとともに、インターンシップセミナーやハローワーク主催の新卒採用説明会において事業の説明を行った。

また、商工会議所の会報や本市ホームページへの掲載、職員による企業訪問時の紹介など、これまで広く周知を行ってきたところである。現在の予算執行率は約43%であるが、本事業を利用した企業のうち、令和8年4月に採用内定者がいる企業や次年度に向けて選考を行っている企業もあり、インターンシップ制度の活用に向けて一定の効果が出たものと考えている。本事業について、まだ周知が行き届いていない企業もあると思われるので、今後も引き続き制度の周知に努め、活用を促進してまいりたい」との答弁がありました。

これを受けて、委員中から、「昨今の物価高騰を考慮すると、この補助金額では十分ではないのではないか」との質疑があり、

当局から、「限られた予算の中で、より多くの企業に本制度を活用してもらうための金額設定である。本事業のほか、山口県インターンシップ推進協議会がマッチングを行うインターンシップに参加する学生に対しては、交通費や宿泊費に対する補助金が同協議会から交付されるため、市としては、こういった制度と併せて周知を図ってまいりたい」との答弁がありました。

続いて、農林水産業費の林業費の林業振興費の航空レーザ計測・森林資源解析事業に関し、

委員中から事業内容について質疑があり、

当局から、「過去に、国土地理院が市内の山林のうち3分の1の測量を行っており、残りの3分の2の山林について測量・解析を行う事業である。令和7年度において航空機による山林のデータ収集を実施し、令和8年度に当該データの解析及び活用のための処理を行うこととしている。森林の資源を解析することで木の種類や樹齢等がデータ化されるため、現地踏査を省いて間伐を進めることができ、業務の省力化が図られるものである」との答弁がありました。

これを受けて、委員中から、「解析データについては、行政だけでなく、広く使用できるようにしてほしいが、いかがか」との質疑があり、

当局から、「現在、市内の林業事業体も、森林の経営管理や間伐の際は現地に行く必要があり、人員に苦慮しているのが現状である。データを活用することによって業務の省力化が図られるため、市内の林業事業体にもデータを無償で提供し、活用していただきたいと考えている」との答弁がありました。

続いて、商工費の観光費の宇野千代をモデルとするドラマ観光振興事業に関し、

委員中から予算の内訳について質疑があり、

当局から、「令和8年秋に放送予定の宇野千代先生をモデルとするドラマ、NHK連続テレビ小説「ブラッサム」の放送を契機とした周遊の促進、観光プロモーションの推進、宇野千代生家の受入れ環境の整備に関連する予算となっている。具体的には、宇野千代生家の臨時駐車場の整備、生家の展示内容の更新、照明の修繕、駐車場への仮設トイレの設置等に係る費用を計上している。また、商工観光団体など26団体で組織した宇野千代ドラマ観光推進実行委員会が、民間事業者と連携して実施する機運醸成のイベントやプロモーション、市内の周遊につなげる取組に係る費用も含まれている」との答弁がありました。

これを受けて、委員中から、「前年比で30万人ほどの観光入込客数の増加を見込んで

いるということだが、交通渋滞やごみなどのオーバーツーリズムへの対策は、どのように考えているのか」との質疑があり、  
当局から、「まず、駐車場については、臨時駐車場を近隣のスーパーの敷地内に設ける予定としており、警備員を配置するなど、安全対策も実施していく予定である。また、NP  
O宇野千代生家と連携しながら、観光客や住民の皆様に御不便・御迷惑をかけないよう取り組んでいきたいと考えている。また、トイレについては毎日清掃を行っているが、設備の不具合や清掃状況の悪化などが確認された場合は、管理者と連携し、速やかに対応してまいりたい。さらに、ごみの対策については、現在も観光の繁忙期には通常時よりも収集頻度を増やしているところであるが、状況に応じて臨時で収集するなどの対策を講じてまいりたい」との答弁がありました。

本議案のうち、本委員会所管分については、慎重審査の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

なお、そのほかの案件につきましては、特に申し上げるべきことはございません。  
以上で、経済常任委員会の審査報告を終わります。